

センター
便り

絆

きずな

第195号

発行所

社会福祉法人
西陣会

HP: <http://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org

〒602-8464
京都市上京区元誓願寺千本東入ル
TEL (075) 451-8971
FAX (075) 451-5700

発行者: 南大路 文子
編集責任: 土屋 健弘

郵便振替口座
01030-5-23086



ホームページでも
ご覧になれます

当法人への寄付金は、課税控除対象となりますので、その為の受領書が必要な方はお申し出下さい。

繰り返して確認する西陣会の目指すもの 〜隣人を愛することによって

平和と正義が確立される

監事 村井喜治

西陣会は、その「理念と活動」において「隣人を愛することによって平和と正義が確立される」という聖書の言葉を基盤としていて、と明記しています。私たち役員は、これを役員会の度ごとに、はじめに読み上げ確認しています。

隣人を愛することによって「平和」は確立されるのか。いま、戦争が現実であり核兵器が使用される可能性も現実味を増している、と言います。政府は、日本も

その危機に直面しており、防衛予算を倍増し四兆円規模にする、等々。

隣人を愛することによって「正義」は確立されるのか。世界の富の半分が一部の富める人に集中し、残りの半分を九十九%の人々で分け合っていると言います。日本でもアメリカでも、有力政治家が賄賂を受け取り起訴されました。日本の国会議員は、再生可能エネルギーを普及すべきと称して、その捜査過程では、コ

ロナ禍の事業の持続化給付金の不正受給も見つかり、詐欺罪でも起訴された、と。日本の大企業の内部留保額は五百十兆円以上に増えた一方、労働者の実質賃金は減少。日本の子どもの七人に一人が貧困状態に。当然、親が貧困だから。特に、母子家庭が。男女の賃金格差等々。

生活保護は、児童福祉は、母子福祉は、社会福祉は、法律や政策はあります



久しぶりの夏の風物詩 (育成会上京支部との合同流しそうめん)

「平和と正義の確立が…」
 社会福祉は、何（誰）によつてすすめられてきたのでしょうか。例えば、優生思想やファシズム（ヨーロッパだけでなく日本でも）の横暴により、障がい者が受けた体験。戦後の憲法、基本的的人権、ノーマライゼーションの考え方の登場と、それが障がい者福祉、社会福祉の発展に果たした役割、等。平和と正義が確立されてこそ社会福祉も確立される、と言うことは、間違いないでしょう。

「目指すもの」

聖書は、隣人を愛し、平和と正義を確立するよう、繰り返しイスラエルの民に呼びかけていますが、とりわけ常に厳しく問われたのは、歴代の王でした。そして、権力者や富める者たちも。他方、孤児、寡婦、障がいのある人、在留外国人、等の権利を明記しています。新約聖書には、色々な病や障がいのある人々が癒され、貧しい人と共に食事会を開き、隔離された人々との連帯の様子が、繰り返し描かれています。女性も男性同

様に発言し、活躍しました。いま、世界と日本の多くの人々が平和を願い、戦争の被害にあっている人々の生活の回復と心の傷が癒されることを願い、自分のできる支援や献金、等をしています。

西陣会の「理念と活動」の冒頭には、「私たちは一人ひとりの人間がその人らしく生き、大切にされ、お互い助け合つて共に生きていける社会を目指しています」と、明記しています。

その活動は多彩です。東日本大震災の被災者への継続的な支援、地域福祉活動、児童館を拠点にした諸活動、障がいのある人を支援する数多くの活動、等々。「隣人を愛することによって平和と正義が確立される」とは、一体どういうことなのか。繰り返し問い直し続けつつ、この地の上に、一日も早く確立されることを信じて願い続けたいと思います。そして、西陣会の皆さんと共にその具現化を目指し、連帯の輪を広げる活動に参加していきたくと思っています。

2023西陣会 秋フェスのご案内

61年目の歩みをはじめた西陣会、
 私たちの原点の場所でおこないます。

- 日時 2023年11月19日(日)
- 時間 11:00～15:00
- 会場 京都市民福祉センター・西陣児童館

職員たちがお店を出してお待ちしています。

※お近くの方は、徒歩でお越し下さい。

食べて、しゃべって、笑って!!
 心もおなかもいっぱい
 楽しい秋の日をすごしましょう。

地域生活支援ニュース

デイセンターふらっと

教わる こと

山下 智治

歌ってもらうことが大好

きな利用者さん、歌があればご飯もたくさん食べられます。出会いはじめ頃、彼が聴きたい歌い方ってどんな風だろうと思ひ、ご家族の方に質問をしました。「彼にとって歌の大事な部分は何でしょう？歌詞ですか？リズムですか？それともメロディーですか？」。

頂いたお返事は「ハートです」。そのお答えは、この仕事について何も知らない私のスタートラインになったと感じています。

別の利用者さん、いつも一緒にいて、基本ジェスチャーで話しをされます。複数の物事が同じジェスチャーだったりするので、はじめは戸惑いましたが、よく考えたら言葉は普通そんなもので、日本語の兄と

弟は英語で区別せずブラザーですし、英語のトータスとスタートルは日本語で両方とも亀と呼び、右と左を示す言葉がない民族も世界には存在します。要するに「目に見えるジャスチャーだけでなくハートを読んでコミュニケーションして」

と利用者さんから教わる気がするので。

他にも感性の鋭い方がいます。母の日

の記念に「お母さん描いて下さい」とお願いしたら、（おかあさん）と文字を書かれました。「ごめんなさい、

お母さんの顔を描いてください」と言い直すと（おかあさんのかお）と文字を書かれ、「お母さんの顔の絵を描いて下さい」と繰り返し言い直すと、しまいには「山下さん、ぜんぜん仕事できてないよ」と言われてしまいました。確かに（おかあさんかいてください）と言われて（おかあさん）と書く利用者さんには一ミリの間違いもありません。私の伝え方にまだまだハートが足りていないことを教わりました。



お誕生日会

シエアハウス小松原の家

4年ぶりの地藏盆

森 勇輝

シエアハウス小松原の家

が所属する町内会「小松原北町南部」の地藏盆が四年ぶりに開催されました。コロナ禍は地藏盆や区民運動会などほとんどの町内会行事が中止となり、お互いに顔をあわせることもほとんどなくなってしまうようになりました。

久々の開催ということで準備に集まってくくださった町内会長さんや役員の皆様も四年前とはガラリと顔ぶれが変わっていました。「初めて準備する」「久々でどんな風だったっけ」と口になしながら、提灯を飾ったりお供え物をしたりと子供たちのために汗を流しながら

準備されていきました。十時からはお地藏さんの御開帳、そしてその後は毎年恒例だったビンゴ大会が開催されました。子供も大人もビンゴシートを握りしめおもちゃや家庭用品、そしてお酒を指して熱中さされていきました。

地藏盆にこられた子供たちを見て四年という時間の大きさを改めて感じました。幼児だった子が小学生に、小学校高学年の子は中学校に。「大きくなったな」と親戚のおじさんのような気持ちになりました。

西陣会居宅サービス係

いじいち

所長 赤尾 幸雄

改めまして、二〇二〇年八月から居宅サービス係の所長を務めています赤尾と申します。思い起こせば学生時代に友人から誘われた京都新聞社会福祉事業団が主催していたサマーキャンプに参加したことが福祉の目覚めです。その後は漠然とボランティアをやってみたいなどと上京区社会福祉協議会を訪ね、高齢者の銭湯入浴介助から始まり、高齢者デイサービスでのアルバイト、そしてKSPの活動に参加したことが西陣会との出会いです。

KSPとはK＝東京／S＝社協／P＝プロジェクト。今思えば何とも安易な名称ですね(笑)。当時の西陣会の地域活動支援センターふらつとのメンバーさんや職員さんが参加し、調理活動や外出活動をしたり、飲み会をしたり、何とも楽しく居心地が良かった

ことを今でもはつきりと覚えていています。

西陣会に入職し二十年あまりが経ちましたが、関わる利用者の希望や状況に応じてきたため、昔に比べると事業や職員数は大幅に増えています。居宅サービス係は早朝の起床支援から夜の就寝支援、平日夕方や土日は外出支援、夜間対応の夜勤や宿直、等不規則な勤務形態にならざるをえない状況があり、職員は皆本当

にがんばってくれてます。勤続年数が十年以上の職員も多く、日々の業務はサービス提供責任者を中心に安心して任せている現状です。

利用者対応はこれまでもこれからも大事なものは変わりませんが、今いる職員が少しでもやりがいを持って長く働き続けられるよう、新しい職員が少しでも多く入職してくれるよう、西陣会の良さ(私自身という居心地の良さ)を大切にしながら取り組んでいけば、今よりもっと良くなると信じています。

皆様これからもよろしく
お願い致します。



大好きなポテトサラダケーキ

放課後等デイサービス支援事業

あ、共感とかじゃなくて。

副所長 小 西 秀 和

先日、見知らぬ誰かのことを想像する展覧会「あ、共感とかじゃなくて。」(東京都現代美術館 七月十五日～十一月五日)に行ってみました。家族や友人との人間関係や自分のアイデンティティを確立する過程に悩むことの多い十代の若者に向けた企画でしたが、四十代の私にも響く内容でした。

というのも、次のような企画意図が展示の冒頭で示されていたからです。

近年、教育やビジネスにおいて重視される「共感」ですが、時に同調圧力や支配、他者の排除につながるなど、ネガティブな側面もあります。本展は、自分と相手を尊重するために、「共感しなくても大丈夫」と提案するものです。

また、今年設置されたことも家庭庁内においても、厚生労働省の時から議論が続けられています。児童館や学童クラブ等の放課後のことを検討する「こどもの居場所部会」や、児童発達支援や放課後等デイサービス等の通所支援のことを検

討する「障害児支援部会」においても、別々にインクルージョンの推進が謳われています。ぜひ、ググって読んでみてください。

なぜ？そこまでインクルージョンが叫ばれているのでしょうか？ 私は、これまでの社会が物事を分けて効率よく進めようとした結果、いろんな歪みや問題が出てきたからではないかと思っています。とは言え、物事を分けずにみんないっしょにすればオツケーなわけではありません。

たとえば、子ども同士でケンカがあったとき、大人は「自分がされて嫌なことは相手にしない」と注意することがあります。そこには、「共感」が隠されていると思うのです。本当は、「自分が嫌じゃなくても、相手が嫌と思うことはしない」と、伝える方が正確なような気がします。

いっしょにいる（インクルージョン）には、共感とかじゃなくて、ほかのなにかも、きつと必要なんだと思う今日この頃です。

支援センター「きらリンク」

電話を介して

相談員 小野 紀代子

この夏、きらリンク事務所の電話子機の半数が新しい物に替わりました。古いほうは長年の使用で不具合が出ていたためです。入れ替えた結果、使い勝手がとても良くなりました。

古い子機を購入したのはきらリンクが浄土寺に移転した十二年前だそうです。その間ITの発展につれ通信手段が劇的に増えましたが、この事務所でも頻度高く使っているのはやはり電話です。

毎日、利用者さんやご家族、関係機関等いろんな方々から連絡が入ります。また私たち相談員からも同様に多くの電話をかけ、支援に必要な連絡をしています。

電話の強みは、リアルタイムで相手とつながり、短時間に多くの情報を伝えられることです。一方で、相手の姿や表情が見えないため、声の大小や速度、抑揚

など相手に合わせて会話を進める配慮が必要です。

初めて電話をかけてきた人の不安や緊張。悩みを話すうちに感情があふれてしまう人。かわりが長く、こまめに近況報告をくれる利用者さんから、突然SOSが入ることもあります。

その時々、どのような状況で何を求めているのか、会話の中から把握していきます。

電話の中でこちらも悩んでしまい「宿題」を頂戴することもあれば、嬉しい報告に喜びを分けていただくこともあります。相談の内容によっては訪問や来所の提案を含め、次につながるような声掛けを行ったりもします。

「きらリンクに電話してみても良かった」と思っただけのように、受話器の向こうにいる方の立場に立つて考え、応対していこうと思っています。

支援センター「こころ」

おもしろかった研修について

相談員 藤原 暢子

先日参加した相談支援専門員カフェで『アンガーマネジメント』についてお話を聞いたので、少しご紹介できたらと思います。

アンガーマネジメント、言葉はよく聞くようになりましたが、皆さんどんなものだと思いますか？ 私は、参加する前は『何かイラっと思ってしまった時に、その苛立ちに対処する方法』と聞いていました。どちらかというところ、自分を抑えるもの？みたいな。

でも、話を聞いてみると、『今携わっている福祉分野の仕事は、感情労働に分類されるものが多く、感情労働での疲れは他の労働より回復が難しい！』だったり、『怒りは、人間の自然な感情の一つで、時に自分を守る必要な感情でもある』とか、『怒っているという事は、何かを侵害されたという見方もでき、何を侵害されたと感じたのだらうと、相手を知るチャンスにもなること』など、今

まで『怒り』の印象が変わるお話でした。中でも一番なるほどと思ったのが、怒りの仕組みをライターに例えて説明してくださった話で、ガスの部分Ⅱ『人の内側にあるしんどさや不安等』、火を点けるカチカチする部分Ⅲ『こうあるべきという価値観』で、その両方があるって火Ⅳ『怒り』が生まれるので、自身の心が少し不安だと怒りに繋がるかもしれないし、こうあるべき！という価値観が自身を追い詰めたのかもしれない。そう考えてみると、怒ってしまった…と罪悪感をおぼえるより、自身の心をもっと元気にしていこうとか、自身の価値観を振り返ってみたり、少しポジティブに考えて向き合っていける気がしました。

今回は初心者向けの内容だったと思いますが、とてもおもしろかったです。皆さんも、お近くでそんな研修があれば、受けてみておもしろいと思います。

路地裏ステーションニュース

西陣児童館

「2023の夏・なつ・ナツ」

西陣学童クラブ

暑い、アツイ夏でした。昔のように、「夏休みは自然のなかに行こう！おでかけしよう！」というような館外活動ができなくなってきましたが、それでもちよっとした楽しみをつくりながらの児童館には、一日中子どもたちの声が大きく響いていました。どんな夏だったのか、ちよっとご紹介しまーす。

○ギネスに挑戦スペシャル

毎月ひとりずつ競う恒例の「ギネスに挑戦」。夏休みは、いつもと違ってスペシャル版に！お題は、「二人でボールおくり」にチャレンジでした。いつも遊んでいるお友達を誘って挑戦する子もいれば、たまたまお隣にいた普段は一緒にやらない子同士が「一緒にやらへん？」「…いいよ」とやりとりするほほえましい姿も。

いつも行っているイベントを『二人で』にするだけ

で子どもたちの輪が広がり、「頑張れ！」の歓声も響き、とても素敵な光景でした。

もうひとつのお題は、「片足で横跳びチャレンジ」。これは一人ずつの挑戦です。様々な子がチャレンジしてくれました。結果は一般来館として遊びに来てくれていたOGさんが上位に！「あの子、誰なん？」「やるな！すごいな！」とみんなが興味津々でした。

それぞれのタイミングで児童館に遊びに来てくれる子どもたち。なにかのきつ



かけがあったという訳ではないけど、いつの間にか一緒に遊ぶようになり友達になり仲間になり…そのきっかけ作りのお手伝いが出ればなと思います。たかさんの思いを持つ子どもたちに寄り添い、また楽しめるイベントを子どもたちと一緒に考え作りあげていきたいです。(松井美穂)

○お弁当いらないデー

学童クラブの夏休みと言えば、親御さん的には毎日のお弁当作り。いつも頑張ってくださいている親御さんにちょっと一息ついてもらうことを想って、その日はレトルトなどを持参するだけのお弁当はなしで構わない日を設定しています。

子ども達は、カレーなどのレトルト持参に、普段とは違う昼食に朝からワクワクしています！学童で用意した白ご飯にカレーなどのレトルトをかけていただきます！ご飯のお代わり!!と大きな声がたくさん聞こえますが、レトルトは持参分のみ。カレーをうまく配分している子どももいれば、最後は白ご飯のみを堪能している子どももいて、大盛り上がりな昼食でした。

また、今後も親御さんにも一息ついてもらえるような機会を作っていけたらと思っています。(鬼塚義正)



○GIGA工作デー

児童館の良さの一つに、おうちではするのが難しい遊びができることがあります。遊びができるものがないかと思

います。夏休みの最終週、「GIGA



GIGA工作デー」と題して、段ボール工作ができる日を企画しました。今回はグループでの活動だったので、事前に何を作るか決める話し合いをしました。それぞれが自分の作りたいものを思い描いて、どうしたらみんなが納得するものができるか擦り合わせをしました。

いざ当日、子どもたちと職員とボランティアが一緒になって、段ボール工作をしました。子どもたちは事前に話し合った設計図をもとに、大人の力を借りながら、おもいおもいに作業を進めていき、完成したときのこどもたちの笑顔はなものにも代えがたいものだと感じました。子どもたちのひと夏の思い出になっていれぼと思います。(坂本隼哉)



活動日誌

【本部・京都市民福祉センター】

- 7月
 - 1日 嘉楽体育振興会説明会
 - 4日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
 - 7日 新任職員研修 (中山理事)
 - 10日 月曜集会
 - 12日 新任職員研修 (尾上社労士)
 - 13日 新任職員研修 (武田理事)
 - 17日 FUKUSHI就職フェア
 - 19日 元四会集会
 - 21日 年金事務所調査
 - 24日 産業医面談
 - 27日 安全衛生委員会
 - 29日 月曜集会
- 8月
 - 7日 採用試験
 - 12日 京都府人材・研修センター1DAYチャレンジ受入
 - 19日 元四丁目地蔵盆足洗
 - 21日 大阪保健福祉専門学校
 - 22日 就職場見学受入
 - 23日 ステップアップ研修委員会
 - 26日 京都府福祉人材サポートセンター福祉職場インターンシップ(夏季)受入(〜26日)
 - 26日 インターンシップ取

- 28日 り組み発表会
- 職員交流会(西陣会)
- サマーパーティー
- 産業医面談
- 安全衛生委員会

9月

- 5日 キャリアパス&人材育成計画推進委員会
- 7日 総務委員会
- 8日 秋フェス実行委員会
- 9日 人材フォーラム参加
- 11日 月曜集会
- 12日 レクリエーション委員会
- 20日 人材育成・内部研修の枠組み・課題整理ミーティング
- 22日 虐待防止・身体拘束禁止マネージャー会議
- 25日 産業医面談
- 26日 安全衛生委員会
- 26日 月曜集会
- 26日 ステップアップ研修
- ① ② 合同説明

【居宅サービス係】

- 7月
 - 10日 居連協事務局会議
 - 11日 上京ねっと総会
 - 14日 サービス提供責任者会議
 - 16日 居宅職員会議
- 8月
 - 7日 北の勉強会
 - 11日 ガイドヘルパー養成講座(〜13日)
 - 18日 サービス提供責任者会議
 - 20日 居宅職員会議
 - 31日 居連協定例会
- 9月
 - 8日 サービス提供責任者会議
 - 10日 ガイドヘルパー養成

【デイセンターふらっと】

- 24日 講座・閉講式
- 29日 居宅職員会議
- 居連協定例会

7月

- 10日 ユニットリーダー会議
- 31日 デイ職員全体ミーティング

8月

- 21日 ユニットリーダー会議
- 23日 生活介護等事業連絡協議会定例会
- 26日 デイ職員全体会議
- 28日 デイ職員全体ミーティング

9月

- 7日 訪問歯科検診
- 11日 ユニットリーダー会議
- 25日 デイ職員全体ミーティング

【西陣児童館】

- 7月
 - 15日 第一ブロック児童館
 - 24日 学童保育所まつり
 - 28日 小学校夏季休暇期間(〜8月24日)
 - 28日 避難訓練
- 8月
 - 10日 お弁当いらないデー
 - 21日 ギネスに挑戦スペシャル
 - 24日 GIGA工作デー
 - 27日 防犯講習
- 9月
 - 27日 ほっこりにこにこ

【きらりんく】

- 30日 トーキョング
- 出前児童館(かき水屋さん)

7月

- 5日 左京こころのふれあい
- 7日 ネットワーク総会
- 7日 北部自立支援協議会
- 12日 運営会議
- 18日 北部自立支援協議会
- 27日 全体会議
- 26日 夜のNOON交流会
- 27日 基幹センター会議
- 27日 障害支援区分審査会

8月

- 7日 左京要保護児童対策
- 21日 地域協議会
- 21日 相談支援スキルアップ
- 24日 個別避難計画出張講座
- 30日 基幹型支援センター
- 30日 研修事業北部圏域相談支援事業所座談会

9月

- 1日 障害者虐待防止に係る窓口職員向け研修
- 2日 北総合支援学校事業所
- 9日 フェア
- 9日 北部自立支援協議会
- 21日 支援センター部会
- 25日 15支援センター合同研修会
- 25日 北区こころのキャンパスネットワーク実務者会議

【にしじん】

- 7月
 - 5日 京都市障害者自立支援協議会 権利擁護部会
 - 11日 上京ねっと総会
 - 13日 機能集約合議体
 - 18日 15支援センター会議
 - 20日 中部自立支援協議会
 - 20日 運営会議
 - 27日 中京区権利擁護会議
 - 28日 医療的ケア専門部会座談会
 - 31日 現任研修打ち合わせ
 - 31日 下京区個別支援会議
 - 8月
 - 4日 上京ひきこもり支援調整会議
 - 8日 居連協
 - 10日 機能集約合議体
 - 17日 中部自立支援協議会
 - 17日 運営会議
 - 17日 相談支援専門員カフェ
 - 22日 京都市医療的ケア部会
 - 23日 基幹支援センター会議
 - 28日 現任者研修 講師(〜30日)
 - 9月
 - 5日 初任者研修打ち合わせ
 - 20日 上京ネット実務者会議
 - 21日 中部自立支援協議会
 - 21日 運営会議
 - 26日 15支援センター合同研修会
 - 26日 上京ねっと運営会議
- ※毎月、施設長会議・主任会議を実施しています。
- その他、諸事業諸活動においても定例活動を行っております。

センター往来

◎7月17日、みやこめっせで開催された「FUKUSHI 就職フェア」に出展させていただきました。ありがとうございました。

◎7月29日、レクリエーションスペースふらっとの企画「季節に応じた体を労わる食べ物【試食会】夏編」を行いました。

◎8月19日、数年ぶりに元四丁目町内会の地藏盆が行われ足洗に児童館・京

都市民福祉センター館長の中山が参加させていただきました。

◎8月26日、職員交流会として「西陣会サマーパーティー」を行いました。

◎8月23日～26日、京都府福祉人材サポートセンター「福祉職場課題達成型インターンシップ」を受入しました。

また、他就活機関を通じて何名かの学生の職場見学を受入いたしました。

◎9月10日、西陣マルシェ

西陣児童館では、学童クラブ家庭、子育て支援家庭ほか、地域の方々、法人職員からもご協力いただきました。大切な品物は、NPO法人セカンドハーベスト京都を通じて、必要としている方々へ届けられます。

7月に右京の児童館をかわりに、「フードロスを減らす」「必要な家庭への食料品の提供」などを目的に、京都市にあるすべての児童館が活動を行っています。

9月11日(月)～16日(土)の期間は、第二ブロック上京北・中京の児童館で行いました。



でお手伝いさせていただきました。久しぶりに「西陣会ブース」でも出店です。



“きずなちゃん”マークののぼりをたてての出店

ありがとうございました

9月25日(月) 京都めいぶるワイズメンズクラブ様より地域活動支援センターふらっとへ助成金の二十万円をいただきました。心より感謝申し上げます。



名物!? 「THE ☆射的」

月曜集会の今後の予定

10月16日、30日、11月13日、27日、12月4日(クリスマス会)です。基本、東館2階で19時から行います。日程、場所の変更もあり得ますので、お手数ですが事前にお問い合わせください。



今年もデイからもらった種から…ようやく咲いた遅咲き9月のアサガオ

住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて (075) 451-5700 迄ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

○ 法人本部

○ 京都市民福祉センター

○ 地域活動支援センター

○ 地域生活支援事業

○ レスパイトサービス

TEL (075) 451-1897

FAX (075) 451-1570

○ 西陣児童館

○ 京都市放課後等

○ デイサービス支援事業

TEL (075) 451-1897

FAX (075) 451-1570

○ 西陣会居宅サービス係

○ 相談支援事業所 きずな

TEL (075) 441-7340

FAX (075) 441-1529

○ デイセンターふらっと

TEL (075) 441-7340

FAX (075) 441-1529

○ 西陣会ホームとなり

○ ショートステイゆう

TEL (075) 468-1068

FAX (075) 441-1529

○ 西陣会ホームきたまち

TEL (075) 462-1355

FAX (075) 462-1356

○ 京都市中部障害者地域生活

○ 支援センターにしじん

TEL (075) 417-1630

FAX (075) 451-1369

○ 京都市北部障害者地域生活

○ 支援センターきらりリンク

TEL (075) 751-1006

FAX (075) 751-1007